



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 日東富士製粉株式会社 上場取引所 東
コード番号 2003 URL <https://www.nittofujii.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮原 朋宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 坂田 喜章 (TEL) 03-3553-8781
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	55,165	5.5	4,357	4.6	4,700	5.9	2,948	△5.0
2023年3月期第3四半期	52,276	18.3	4,163	16.4	4,438	12.7	3,102	2.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,627百万円(18.0%) 2023年3月期第3四半期 3,922百万円(37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	323.85	—
2023年3月期第3四半期	340.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	65,187	48,593	74.5
2023年3月期	60,944	45,558	74.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 48,536百万円 2023年3月期 45,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	77.00	—	98.00	175.00
2024年3月期	—	75.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	101.00	176.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	6.4	5,200	△1.9	5,500	△4.0	4,000	1.0	439.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	9,384,728株	2023年3月期	9,384,728株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	279,400株	2023年3月期	278,983株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	9,105,536株	2023年3月期3Q	9,105,854株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期につきましては、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い行動制限が緩和されたことをきっかけに、国内景気は緩やかなペースで回復傾向に進んでいるものの、残存する世界的なインフレ圧力や円安基調の長期化、中国経済の調整圧力等の懸念要因も残る状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2024年度を最終年度とする中期経営計画「New Foundation for the Future」の達成に向け、「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、①成長を支える設備・人材投資、②グループ経営基盤及び連携の強化、③海外ミックス粉事業の面展開と小麦粉の輸出拡大、④美味しさと健康を軸とした製品ラインナップの拡充、⑤「主食を通じた食と健康の課題解決」につながる新規事業機会の創出、の5つの重点戦略に取り組んでおります。

当社グループの第3四半期の業績につきましては、主力の小麦粉の販売数量は若干減少しましたが、外国産小麦の政府売渡価格の引き上げ（昨年4月に平均5.8%）に伴う小麦粉販売価格改定の影響等もあり、売上高は551億6千5百万円（前年同期比5.5%増）と増収になりました。利益面につきましては、経常利益は47億円（前年同期比5.9%増）と増益になりましたが、投資有価証券評価損を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億4千8百万円（前年同期比5.0%減）と減益になりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	52,276	55,165	2,888	5.5%
営業利益	4,163	4,357	193	4.6%
経常利益	4,438	4,700	262	5.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,102	2,948	△153	△5.0%

〔セグメント別営業概況〕

① 製粉及び食品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	45,108	47,144	2,036	4.5%
営業利益	3,893	4,010	117	3.0%

「製粉及び食品事業」につきましては、昨年4月に外国産小麦の政府売渡価格が平均で5.8%引き上げられましたが、10月には平均で11.1%引き下げられ、これに伴い、当社においても1月から適用する小麦粉製品の価格改定を公表いたしました。

売上高は、一部で価格改定に伴い需要が減退する動きが見られましたが、昨年6月に実施した小麦粉の価格引き上げ等の影響もあり、前年同期比4.5%増の471億4千4百万円となりました。営業利益につきましても、副産物であるふすまの販売価格が堅調に推移したこと等を受けて、前年同期比3.0%増の40億1千万円となりました。

② 外食事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	7,066	7,916	849	12.0%
営業利益	125	206	80	63.9%

「外食事業」の糊さわやか（当連結対象期間1月～9月）につきましては、主力のケンタッキーフライドチキン店のキャンペーン商品の販売好調などにより、売上高は前年同期比で12.0%増加し79億1千6百万円、営業利益も前年同期比63.9%増の2億6百万円の増収増益となりました。

③ 運送事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	1,550	1,521	△28	△1.8%
営業利益	122	116	△6	△5.1%

「運送事業」の日東富士運輸㈱につきましては、小麦粉の出荷数量の減少もあり、売上高は前年同期比1.8%減少の15億2千1百万円、営業利益も前年同期比5.1%減の1億1千6百万円の減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2023年12月期	比較
流動資産	32,103	33,691	1,588
固定資産	28,841	31,495	2,654
資産計	60,944	65,187	4,242
流動負債	11,384	11,901	517
固定負債	4,002	4,691	689
負債計	15,386	16,593	1,206
純資産	45,558	48,593	3,035
負債・純資産計	60,944	65,187	4,242

流動資産は336億9千1百万円で、受取手形及び売掛金や短期貸付金（キャッシュ・マネジメント・システムによる実質的な現金及び現金同等物）が増加した一方、原材料及び貯蔵品が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ15億8千8百万円増加しました。固定資産は314億9千5百万円で、時価評価による投資有価証券の増加や生産設備等の更新・改修による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ26億5千4百万円増加しました。この結果、資産合計は651億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億4千2百万円増加しました。

流動負債は119億1百万円で、支払手形及び買掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億1千7百万円増加しました。固定負債は46億9千1百万円で、繰延税金負債が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億8千9百万円増加しました。この結果、負債合計は165億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億6百万円増加しました。

純資産はその他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ30億3千5百万円増加し、485億9千3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.2%減少して74.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に加え、政府の物価高対策などもあり経済活動は緩やかな回復の動きがみられました。資源・穀物価格は、一時期のピークと比べて総じて下落しておりますが、ウクライナや中東等を巡る地政学的な要因により大幅に変動する可能性が懸念されます。また、金融引き締めにより米欧の物価上昇率はひと頃に比べれば低下しておりますが、円安傾向の長期化に伴う輸入物価の高騰、労働市場や不動産市場における調整圧力にて不確実性が残る中国経済などの懸念要因は引き続き注視が必要といえます。また、次期以降も景気回復は続くものと考えますが、節約志向の高まりによる個人消費の抑制や、物流の「2024年問題」などの人手不足を背景とした供給制約もあり、物価上昇圧力の強い状態は続くものと予想いたします。

このような中、当社グループといたしましては、安全・安心な製品の安定供給に努めるとともに、環境の変化に対応できる強固な企業体質の確立と経営効率の向上を図ってまいります。

なお、現時点において2024年3月期(2023年度)の業績見通しは、連結売上高740億円(対前期比6.4%増)、連結経常利益55億円(対前期比4.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益40億円(対前期比1.0%増)と2023年5月8日発表の業績予想から変更はありません。

今後の業績動向により当社グループの業績見通しに修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101	1,499
受取手形及び売掛金	10,099	11,767
商品及び製品	3,071	3,370
原材料及び貯蔵品	9,901	8,497
短期貸付金	6,872	7,990
その他	1,063	574
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	32,103	33,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,806	5,810
機械装置及び運搬具（純額）	4,417	4,804
土地	4,647	4,657
建設仮勘定	264	712
その他（純額）	468	470
有形固定資産合計	15,604	16,455
無形固定資産		
のれん	13	-
その他	507	498
無形固定資産合計	520	498
投資その他の資産		
投資有価証券	9,329	11,266
差入保証金	814	809
退職給付に係る資産	2,171	2,101
繰延税金資産	139	108
その他	309	302
貸倒引当金	△48	△46
投資その他の資産合計	12,716	14,541
固定資産合計	28,841	31,495
資産合計	60,944	65,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,154	7,492
短期借入金	500	500
未払法人税等	841	469
賞与引当金	581	293
役員賞与引当金	29	16
その他	3,277	3,128
流動負債合計	11,384	11,901
固定負債		
繰延税金負債	2,937	3,672
役員退職慰労引当金	99	42
退職給付に係る負債	322	300
資産除去債務	504	536
その他	137	139
固定負債合計	4,002	4,691
負債合計	15,386	16,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	34,603	35,976
自己株式	△474	△476
株主資本合計	40,677	42,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,467	5,966
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	295	468
退職給付に係る調整累計額	55	51
その他の包括利益累計額合計	4,820	6,486
非支配株主持分	59	57
純資産合計	45,558	48,593
負債純資産合計	60,944	65,187

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	52,276	55,165
売上原価	40,216	42,476
売上総利益	12,060	12,688
販売費及び一般管理費		
販売手数料	575	641
販売運賃	2,136	2,162
貸倒引当金繰入額	1	0
給料及び手当	1,885	1,972
賞与引当金繰入額	164	149
役員賞与引当金繰入額	16	16
退職給付費用	44	57
役員退職慰労引当金繰入額	16	7
のれん償却額	16	10
その他	3,040	3,312
販売費及び一般管理費合計	7,896	8,331
営業利益	4,163	4,357
営業外収益		
受取利息	5	13
受取配当金	111	130
固定資産賃貸料	170	181
その他	73	65
営業外収益合計	362	390
営業外費用		
支払利息	1	1
租税公課	0	6
為替差損	68	7
海外子会社駐在員に係る源泉所得税負担額	9	12
その他	8	20
営業外費用合計	87	47
経常利益	4,438	4,700

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	8	-
協力金収入	72	-
特別利益合計	81	2
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	47	46
減損損失	9	36
事業譲渡損	-	8
投資有価証券評価損	-	239
特別損失合計	58	330
税金等調整前四半期純利益	4,461	4,371
法人税、住民税及び事業税	1,202	1,309
法人税等調整額	143	106
法人税等合計	1,345	1,415
四半期純利益	3,115	2,955
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,102	2,948
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	6
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	621	1,499
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	221	178
退職給付に係る調整額	△34	△3
その他の包括利益合計	806	1,672
四半期包括利益	3,922	4,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,899	4,614
非支配株主に係る四半期包括利益	23	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2023年5月19日開催の取締役会において、2023年6月29日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金を廃止することを決議し、同株主総会において役員退職慰労金の打ち切り支給について承認可決されました。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を取崩し、打ち切り支給額の未払金39百万円を流動負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
国内事業(注3)	42,788	7,065	111	49,965	—	49,965
海外事業(注3)	2,311	—	—	2,311	—	2,311
顧客との契約から生じる収益	45,100	7,065	111	52,276	—	52,276
売上高						
外部顧客への売上高	45,100	7,065	111	52,276	—	52,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	1	1,438	1,448	△1,448	—
計	45,108	7,066	1,550	53,725	△1,448	52,276
セグメント利益	3,893	125	122	4,142	21	4,163

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 所在地別の売上収益は、事業拠点の所在地を基礎として分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
国内事業(注3)	45,084	7,914	115	53,114	—	53,114
海外事業(注3)	2,050	—	—	2,050	—	2,050
顧客との契約から生じる収益	47,134	7,914	115	55,165	—	55,165
売上高						
外部顧客への売上高	47,134	7,914	115	55,165	—	55,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	1	1,405	1,417	△1,417	—
計	47,144	7,916	1,521	56,582	△1,417	55,165
セグメント利益	4,010	206	116	4,333	23	4,357

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 所在地別の売上収益は、事業拠点の所在地を基礎として分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において36百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。